

## 第19回 行政改革推進本部会議

### 出席者

- ・市長 ・助役 ・収入役 ・教育長(欠) ・総務部長 ・企画部長 ・市民部長
- ・観光商工部長 ・農林振興部長 ・健康福祉環境部長 ・都市建設部長 ・上下水道部長
- ・教育次長 ・萩原振興事務所長 ・小坂振興事務所長 ・下呂振興事務所長
- ・金山振興事務所長 ・馬瀬振興事務所長 ・病院事務長 ・消防長 ・議会事務局長
- ・総務課長 ・秘書広報課長
- ・行政改革推進室長 ・今井 ・野村

### 会議メモ

#### 1. 本部長(市長)あいさつ

- ・昨日、石川県宝達志水町と姉妹都市提携を結んだ。今後は、行政、観光、教育等の面で両自治体が連携して向上していくことを目指したい。
- ・知事要望を1月27日、2月6日、2月15日に行った。詳細は次のとおり
  - ・1月27日：植樹祭への市の取り組みに対して支援をお願いした。
  - ・2月6日：下呂温泉病院の今後について、早期にその方針を明確にさせていただきよう、早川県議会副議長、中津川市の原県議、地元の駒田県議の支援を受け要望した。下呂温泉病院は下呂市だけでなく、広域的に重要な位置を占める病院であることを説明し、その方向性と実施時期について明確にさせていただきようをお願いした。県の姿勢が明らかにならないと市の事業も遅れがちになることから、早期に明確にさせていただきようをお願いした。それに対して知事も副知事も明確な回答をしなかったが、今後は、郡上市、中津川市の市長とも連携し、広域的なアプローチが必要であると考えている。
  - ・2月15日：濃飛横断自動車道に関して山下県議会議長、原県議、駒田県議、中津川市長、郡上市長にも同席いただき、重要な路線であることを説明し、早期の完成を訴えた。知事も重要な路線であるということは認識しており、努力していただけるようである。
- ・2月7、8日には、東京益田会の会長である熊崎勝彦弁護士に、正副議長と関係委員長とともに、ふるさと大使就任へのお願いをしてきた。熊崎氏もふるさとのために一肌脱ぎたいという意向であり、今後は観光客、企業の誘致などにお骨折りをいただきたいと考えている。今後、正式にふるさと大使任命式の実施を考えている。
- ・市民サロンを4回実施したところ、各所ともに4~5名程度の方からご意見をいただいた。今後、回答したい。次回は3月議会、植樹祭、6月議会等があり、7月の開催になるかと思う。

#### 2. 協議報告事項

##### (1) 行政改革推進本部(各部課)の取り組み状況について

【会計室】財務会計システムの改善：事務の効率化のため電気、水道料金支払い事務における財務会計システムとの連携を進めている。

【総務部】行政改革研修、集中改革プラン(行革実施計画)の策定等について説明

【議会事務局】傍聴者の便宜を図り、スピーカーを増設した。委員会等の詳細な議事録作成と時間短縮のため、音声認識ソフトとICレコーダーを導入することになっている。

【企画部】ISMS「情報セキュリティ研修会」を開催した。

【市民部】年度末年度始めにおける窓口受付事務の延長、4月1日からの住民票関係書類の電話事前予約について実施することとなった。

窓口時間延長並びに住民票関係書類の電話事前予約制度など新しいことに取り組んでいただき、ご苦労様。成功するようお願いする。

【健康福祉環境部】接遇に対しては、上司の目から見てもかなり向上していると思われる。

AED(自動体外式除細動器)の設置と周知を行った。

【農林振興部】来年度地産地消集中改革プランについて説明、前回協議事項の報告組織改革にともない設置される地産地消及び獣害対策を担当する特命について、課題を明らかにするよう指示した。

地産地消については、地産地消推進協議会で先進的な取り組みをしている小浜市へ視察に

いってきた。効果的な良い視察であったようで、同行した委員からも様々な意見を聞く。民間でも地産地消への関心が高まっていることは良い方向だと思っている。

【観光商工部】1月26日、27日と、観光商工部と観光協会合同で春夏の観光PRキャラバンに行った。夏のイベントについて、少なくとも6ヶ月前までに概略でも決めていただければ、誘客活動も効果的に実施できる。ご協力をお願いしたい。

【都市建設部】南飛騨健康アリーナについては、1月24日に全員協議会にて説明したが、事前に複数回の内部会議を開催し、説明内容の打合せをした。

【上下水道部】環境課が上下水道部に入るが、事務室の位置については、現状の場所で調整を進めている。

【萩原振興事務所】組織改革にともなう事務所の再配置及び市消防団の消防詰所更新にあたり、市の所有地であるハローワークや、萩原庁舎の有効利用と、コスト面も考慮して、もっとも有効な方法を検討している。

【小坂振興事務所】確定申告も始まり来庁者が多くなることから接客サービス向上委員会では「明るいさわやかな笑顔でお客様をお迎えしましょう」という行動目標を定め取り組んでいる。

【下呂振興事務所】市災害情報メールの登録を説明した。

【金山振興事務所】接客対応にかかる自己チェックについては、十分に職員意識の向上に効果が出てきているようであるので2月以降は取り止めることとするが、引き続き意識改革と向上を目指すよう指示した。

【馬瀬振興事務所】組織改革における特命に「少子化対策」も必要であるという意見があった。

【金山病院】3月1日からの院外処方の実施にともない、ロビーで窓口等を案内する総合案内係をパートではあるが雇用して、サービス向上を図る。

【消防本部】119番通報にあたり、どんな場合も空振りを恐れず、素早い出動ができるよう申し合わせした。

【教育委員会】位山自然の家の管理業務委託について、請負側と調整をすすめている。

市長より

接客マナーについては、改善されたと感じるし、市民からもそのような評価をいただいている。しかし、全国的にも接客マナーはレベルが向上しているの、下呂市も気を抜かず、さらに良いものにしていく必要がある。

(2) 下呂市行政改革の進捗状況について

資料に基づき行革推進室担当から説明

(3) 下呂市集中改革プラン(下呂市行政改革実施計画)について

市長より

- ・時代は急激に変化しており、地方行政の現場にもNPM、説明責任、成果主義、顧客志向、市場化テストなど、新しい考え方が登場してきており、自治体に対して、これまでとは違うあり方が求められている。
- ・本計画書案は「行政改革をキーワードとして、まちづくりの基礎を再構築し、自治体改革のレベルまで高めていく」ことを実現するためのプログラムでもある。
- ・今後、自治体として生き残るには、国の構造改革に加え、本計画の実行など、様々な業務を同時にこなさなければならないが、全職員が改革プロジェクトの一員であるという認識のもと、自治体改革を協力で推進してくれることを願っている。

行政改革推進室担当より説明

- ・資料に基づき構成を説明、計画案の確認等についてお願いをした。
- ・国では数値目標を求められているが、根拠のないものは掲げていない。プランを進めていく上で数値目標が持てるものがあれば数値目標を掲げたい。
- ・大綱の具体化であるので、当たり前のこともあるが、やるべきことをもう一度整理して計画的に取り組むものである。
- ・合併から16年度まで、及び17年度の実績について、漏れなく記載するよう説明した。

(4) その他

下呂市主査・主任・主事・主事補級職員研修(若手職員研修)について

資料に基づき説明する。

3月7、8、9日の3日間は、どこで受講しても良いこととする。

以上